

令和7年度 第2回恵庭市文化財保護委員会 資料に対する 各委員からの質問・意見及び事務局よりの回答

(恵庭市文化財保護委員会内容)

開催年月日： 令和8年3月26日

出席者： 内田委員、土屋委員、伊藤委員、久瀧委員、白幡委員、土岐委員

(事務局) 岩渕教育長、狩野教育部長、山口教育部次長、高野郷土資料館長
大林総務担当主査、長町史跡・重要文化財担当主査
鈴木埋蔵文化財担当主査、太田主任主事

1. 開 会

2. 教育長挨拶

岩渕教育長挨拶

3. 議 題

(1)令和7年度主な事業の報告及び経過報告について

事務局	郷土資料館事業について＜資料説明＞
質 疑	
A委員	特別展示と常設展示の入館者数はわかりますか。
事務局	入館者数については、常設展示・特別展示に分けた集計はしていません。
A委員	行事を開催することによって非常に郷土資料館が活性化しています。
事務局	まちがいないと思います。
A委員	郷土資料室のころから50年、累計で25万から30万人が来館されていると思うが、数字をニュース等で発信するのも良いと思います。
B委員	高齢者の記録を取り組んでいただきたい、データベースは入力していますか。
事務局	データベースは新規について入力しています。
B委員	データベースの公開はしていますか。

事務局	全部は公開していませんが、館内のパソコンの中で一部公開されています。
B委員	公開するのはなかなか難しいですが将来的には公開になって行くと思います。
A委員	公開していただきますと市民の方の利用価値が高まると思うのでよろしくお願いします。
A委員	レファレンスサービスで感覚的に見てどんなタイプのレファレンスが多いですか。
事務局	遺跡の関係が多いと思います、開拓とか記念碑については1～2件程度となります。
A委員	市内・市外の入館者数の内訳はどうなっていますか。
事務局	感覚的に4割くらいが市外の方だと思います。
B委員	レファレンスは大変で帯広百年記念館にいた時はアイヌ関係で60から80件、自然では200から300件くらい年間であり大変だと思いますがよろしくお願いします。
C委員	市のHPで検索できるが郷土資料館の独立したHPがあったほうがわかりやすいと思います。
事務局	史跡・重要文化財・アイヌ政策関連の主な事業＜資料説明＞
B委員	アイヌ文化関係につきましては、ウポポイにご来館いただきましてありがとうございます。エアタイトは1台ですか。
事務局	そうです。
B委員	西島松のパンフレット5000部作られています、ほかの所に配布する予定はありますか
事務局	写真集も発売を考えているので販促関係で千歳のセンターに配布するか考えています。
B委員	複数の重要文化財を持つところのほかにはない、持っていてもその地域の博物館の物ではなく伊達・千歳などは文化庁の所有になっています。
事務局	埋蔵文化財関連の主な事業＜資料説明＞
A委員	新市街地での試掘調査はどうして実施しているのですか
事務局	恵庭市の都市計画マスタープランによる土地利用の計画がありまして検討する材料として西島松地区、戸磯地区で試掘調査を実施しており、基礎データとして市のまちづくりの担当課に情報提供しています。
事務局	文化財防火デー防災訓練について＜資料説明＞

(2) 令和8年度事業計画について

事務局 郷土資料館事業計画(案)について<資料説明>

B委員 カリンバ土曜講座は去年4回行ったと思いますが、今年は実施しないのですか。

事務局 学芸員の間で今後検討して、カリンバ土曜講座にかえて、恵庭歴史講座を最低3回はやりたいと思っています。。

事務局 史跡・重要文化財・アイヌ政策関連の主な事業<資料説明>

B委員 かびの話が出ていたが、最近他の博物館でも出ていて気を付けてやったほしい、空調は入ってますか。

事務局 空調は入っていません。整理室の一部関係だけ入っています。

事務局 埋蔵文化財関連の主な事業<資料説明>

B委員 質問がないので以上恵庭市文化財保護委員会を終了いたします。